

講義コード	11C0124600	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	アメリカ経済論2／アメリカ経済B					齋藤 哲哉		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	アメリカ経済論2／アメリカ経済Bでは、アメリカの金融制度とマクロ経済動向を理解することに主眼を置く。アメリカ経済論1／アメリカ経済Aでは、人種差別というキーワードでアメリカの経済と社会を俯瞰するが、奴隷制度の時代にその関連ビジネスから生まれた企業は今でも健在である。その例は、例えば、2007年の金融危機で倒産したリーマン・ブラザーズや、宝飾品で有名なティファニーといった会社である。金融はアメリカを代表する産業であるが、人種問題と合わせてアメリカを知ること、さらに深いアメリカ社会と経済への理解を助けることが、この授業の目的である。								
到達目標	この授業では、アメリカを代表する産業である金融を支える連邦準備制度の成立の経緯とシステムを理解した上で、マクロ経済指標を読み、各自でアメリカ経済の現状に関する見解を保つことができるようになることが目的である。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	経済学や統計学は授業内で紹介しませんので、各自授業外学修として復習してもらいます。(計60時間以上)								
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 ガイダンス 【第2回】 中央銀行の歴史とその役割 (日本・英国・米国ほか) 【第3回】 最初の合衆国銀行 【第4回】 2番目の合衆国銀行 【第5回】 フリーバンキングの時代 【第6回】 連邦準備制度 (FRS) の設立まで 【第7回】 連邦準備制度を中心とした金融システム 【第8回】 20世紀のアメリカのマクロ経済動向① 【第9回】 20世紀のアメリカのマクロ経済動向② 【第10回】 基軸通貨ドルの歴史 【第11回】 アメリカの金融危機の歴史 【第12回】 連邦預金保険機構 (FDIC) 【第13回】 アメリカの消費者向けローン 【第14回】 サブプライム危機とその後 【第15回】 まとめ 								
成績評価の方法	この授業では、期末試験を軸に、授業中に課す課題を加味して、評価する。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	文献等は授業中に適時指定または配布します。(一部英語)								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									